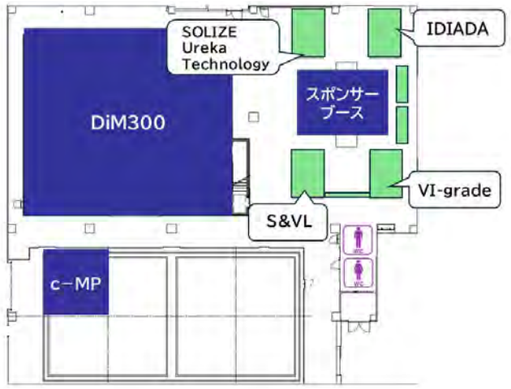
Map 会場図

DiM150 展示場所のご案内

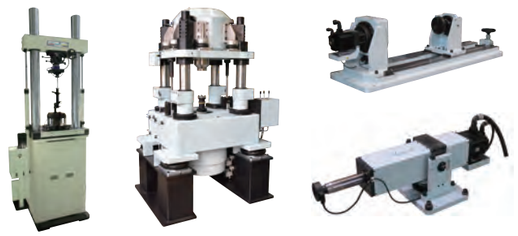


1F 展示・スポンサーブースのご案内



Technical Laboratory





Technical Laboratory では、自動車、産業機器、材料、半導体分野など幅広い領域において、耐久試験、性能評価、計測・解析サービスを提供しています。実機試験で培った知見と各種開発支援技術を組み合わせることで、お客様の開発・評価業務を支援しています。AMAS（Advanced MBD Assist System）は、車両開発における評価・検証業務の効率化を支援する鷺宮製作所のソリューションです。実験とシミュレーションを活用した多様な評価環境を提供しています。本イベントでは、その一例として AMAS を活用した車両開発・評価ソリューションをご紹介します。

導入設備

- ドライビングシミュレータ DiM（150/300）
- CRH ステアリング HiLS
- ASH リニアモータ式ショックアブソーバ試験機
- RFH 電気サーボねじり疲労試験機
- KCH 3kHz 動特性試験機
- LFH 電気サーボ疲労試験機

Wi-Fi のご案内

会場内でご利用いただける Wi-Fi をご用意しています。

■SSID　STF2026_Guest
■パスワード　会場にてご案内いたします。

Contact お問い合わせ

株式会社 鷺宮製作所

試験機営業部
〒169-0072　東京都新宿区大久保 3-8-2 新宿ガーデンタワー 22 階
TEL　03-6205-9126　　FAX　03-6205-9127
E-Mail　dynamic-servo@saginomiya.co.jp

SAGInoMIYA
Technical Laboratory

SAGINOMIYA Technical Forum 2026

Event イベント概要

次世代車両開発の高度化が進む中、開発の効率化や品質向上に向けてシミュレーション技術への期待が高まっています。AMAS（Advanced MBD Assist System）は、車両開発における評価・検証業務の効率化を支援する鷺宮製作所のソリューションです。本イベントでは、「見て、触れて、語り合う。」をコンセプトに、体験型デモや技術講演を通じて、AMAS がもたらす新たな開発環境をご提案します。また、本イベントが参加者の皆様にとって有意義な交流の場となれば幸いです。

Keynote Speaker 登壇ゲスト



椎葉 太一
明治大学

機械学習を用いた計算遅延補償による
ステアリングシミュレータの安定性向上



坂本 圭
株式会社本田技術研究所

先行検討及び量産開発における
ドライビングシミュレータの
活用事例紹介



吉井 亨
VI-grade, Japan

車両開発を加速する
フルスペクトラムシミュレーション



清藤 雄我
SOLIZE Ureka Technology 株式会社

SOLIZE Ureka Technology
自動運転シミュレータ
Ureka One 最新コンテンツのご紹介



Javier Gutierrez
IDIADA Automotive Technology, S.A.

バーチャル開発が切り拓く
車両運動性能の未来
―IDIADA の実践と知見―

DEMO AMAS 体験デモ



Vehicle Dynamics 開発支援

DiM300 + ADAMS/Car

**ADAMS RealTime を用いた
シャーシ伝達特性評価**

DiM300 の高い再現性に加え、ADAMS/Car で解析した車両挙動を Hyperdock のシェーカー機能により再現。これにより、従来手法では再現が難しかった高周波領域を含む高忠実度な実車挙動を再現し、よりリアルな走行感覚を体感いただけます。



Vehicle Performance 開発支援

c-MP + Steering HiLS

**ステアリング HiLS を用いた
車両挙動評価**

ステアリング HiLS と Driver（c-MP）を連結することで、実際のステアリングシステムを用いた評価を仮想空間で再現。岩田ターンパイクの雨天時水膜路面を忠実に再現した評価環境により、市場での走行を想定した車両挙動評価をご体感いただくとともに、ステアリングシステム開発への適用効果をご確認いただけます。



AD/ADAS 開発支援

DiM150 + Autonomous Driving

**夜間走行環境における
障害物回避支援評価**

従来、乗心地評価を主な用途として活用されてきた DiM シリーズですが、コンテンツを切り替えることで ADAS 支援制御開発への適用も可能です。
本デモでは夜間の視認性が低い走行環境を再現し、緊急回避を迫られる場面における運転支援システムの回避挙動をドライビングシミュレータ上で体感いただきます。

Time-Table タイムテーブル

9:15 - 10:00	**受付**	11:30 - 12:10	**昼食** お弁当をご用意いたします
10:00 - 10:10	**開会の挨拶**	12:20 - 16:50	**デモ体験会** 1 時間枠 × 4 回、15 名編成　試乗枠 5 名
10:10 - 11:20	**基調講演** 明治大学　椎葉教授 本田技研研究所　坂本様 スポンサー各社様	17:00 - 18:20	**ネットワーキングセッション**
		18:30	**閉会** 狭山市駅までバスにて送迎いたします

Sponsor Booth スポンサーブース紹介



VI-grade, Japan

VI-DriveSim / VI-WorldSim with AutoHawk

本イベントのすべてのデモンストレーション環境で使用されている、VI-grade Software Suite と Concurrent Real-Time 社製 AutoHawk を、DESKTOP Simulator でご紹介します。VI-DriveSim は、AutoHawk 上のシミュレータ環境を統合的に管理するプラットフォームで、安全で簡単なシミュレータ運用を実現します。VI-WorldSim は、操安・乗り心地、NVH, ADAS/AD, HMI 評価向けの機能を実装しており、高レベルな運転体験を提供します。



SOLIZE Ureka Technology 株式会社

**SOLIZE Ureka Technology
自動運転シミュレータ Ureka One**

SOLIZE Ureka Technology は、お客さまの走る・曲がる・止まる性能のモデルベース開発をサポートします。ブースでは、自動運転シミュレータ Ureka One を設置し、弊社の自動運転アルゴリズムを応用したアシスト機能により、世界一過酷なニュルブルクリンクサーキット北コースの限界走行を、ご自身の運転で体験いただけるデモをご用意しております。



IDIADA Automotive Technology, S.A.

**IDIADA ビークルダイナミクス：
シミュレーションから車両運動性能属性開発へ**

バーチャル開発は、車両運動性能開発においてますます重要性を増しています。実機試験は依然として不可欠ですが、車両構成の数は全体的な複雑性とともに指数関数的に増加している一方で、時間、予算、リソースは限られたままか、縮小し続けています。本発表では、この過程において世界中のお客様をサポートしてきた IDIADA の長年にわたる経験をご紹介します。



S&VL 株式会社

**ドライビングシミュレータを開発に活かす
S&VL の技術力**

S&VL は、DiM300 を活用した D/S 環境の提供に加え、経験豊富なエンジニアがモデル開発、モーションキューイング、運用、評価・分析まで一貫して支援します。会場では、ステアリング把持力計とシートトレーサを展示し、人とクルマの状態を捉えて開発に活かす最新技術をご紹介します。